

平成 17 年 4 月 28 日

各 位

会 社 名：株式会社りそなホールディングス
代表執行役社長 川田 憲治
コード番号：8308 (東証・大証 各市場第 1 部)

平成 17 年 3 月期 業績予想の修正について

当社の平成 17 年 3 月期(通期)の業績予想について以下の通り修正しますので、お知らせ致します。

記

当期(通期)の【連結】業績予想修正[平成 16 年 4 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日]

(単位:億円)	今回修正			
	前回公表予想 ①	予想 ②	増減額 ②-①	増減率 (②-①)÷①
経常収益	9,500	10,500	+1,000	+10.5%
経常利益	3,700	3,500	△200	△5.4%
税引後当期純利益	2,750	3,600	+850	+30.9%

○ 修正の理由

当社傘下銀行において、政策投資株式の簿価圧縮を進めた結果、相応の株式売却益を計上した事に加え、役務取引等利益、特定取引利益等が計画に比して好調に推移し、実勢業務純益が増益となった為であります

(単位:億円)	傘下銀行						前回予想比
	りそな	埼玉りそな	近畿大阪	奈良	りそな信託	合算(概算)	
実勢業務純益	2,690	520	285	6	140	3,640	+260
うち株式関係損益	460	5	△10	△0	—	450	+160
経常利益	2,350	430	250	1	140	3,150	△370
当期純利益	3,050	220	430	4	85	3,750	+870
与信関連費用(△)	△420	140	△65	1	—	△340	△320

【参考 1】傘下銀行における平成 17 年 3 月期(通期)業績見込

(詳細は決算発表時にお知らせ致します)

○ 上記の株式関係損益には「子会社株式に係る減損処理」が含まれている為、りそなホールディングス連結決算においては、「約 350 億円の与信費用戻入の減少・株式関係損益の増加の振り替え」を見込んでおります

(注1) 実勢業務純益は、信託勘定不良債権処理、一般貸倒引当金繰入前の業務純益

(注2) 与信関連費用は、信託勘定の不良債権処理・一般貸倒引当金繰入額・臨時損益内の不良債権処理額・特別利益内の与信費用戻入額の合算

(注3) 「傘下銀行合算」は、単純合算後の概数を記載しています

【参考 2】集中再生期間における計数目標の進捗状況(速報値)

(詳細は決算発表時にお知らせ致します)

○ 集中再生期間の計数目標につきましては、全ての項目を達成する見込みであります

	不良債権比率	保有株式簿価
傘下銀行合算	3%台半ば	約3,980億円
計数目標	3%台	4,000億円
りそな銀行	3%台半ば	約2,990億円
計数目標	3%台	3,000億円

経費率(OHR)
傘下銀行合算 49%程度
りそな銀行 45%程度

以上